

総務企画 委員会

●今後の収支見通し

6月補正後の一般分の財政調整基金残高は約1億6300万円となる。普通交付税の交付額が7月末までに決定されるので、その動向を注視したい。前年度繰越金は概算で約4億3200万円が見込まれ、既計上との差額約3億2000万円は9月補正を考えている、との答弁があった。

●財政調整基金

特定目的分の基金・火力協力金の使途について、現在候補事業の絞り込み作業を行っており、選定に当たってハードソフト両面で寄付の趣旨である広域的な波及効果も踏まえて精査し、市の判断として今年中に方向づけをしたい、との答弁があった。

●期日前投票所は、関係書類の確認など、選管事務局と投票所が近接している方が適切な対応ができることから、投票者数の多い本庁地区については、第5庁舎の1階を投票所としている。必要な連絡等が的確に取れる体制を整え、事務局と投票所が離れることも可能と思われるので今後検討してまいりたい、との答弁があった。

●ニツ井防災無線整備事業

今回の工事は市から再三にわたって施業者者に議事録の提出を求めたが、3月15日まで提出されなかったもので、必ずしも市に責任があるとは言えないが、3者が確認した記録がないということは、後日紛争のもとになりかねないほか、結果として十分適切と言えない面がある。このため、注意を促す意味で関係職員を厳重に注意にすることとしたが、制裁を伴うものではない、との答弁があった。

●市民サービスセンター

本年6月9日にジャスコ能代店3階に開設し、6月14日までの6日間で各種証明139件、税等の収納256件、各種案内40件、合計435件の利用があった。同センターの賃貸借期間は、6年を考えていたが、イオンはテナントの場合基本的に3年の契約期間としていることから、契約書では本年6月9日から平成22年12月20日までとなっている。イオンとの交渉過程で、本年4月6日、北日本カンパニーSC事業部長から、契約期間終了後の再契約について可能である旨の話があった、との答弁があった。

(安岡)



◀総務企画委員会

環境産業 委員会

●ニツ井地区地下水水質検査

今後の調査の範囲について質疑があり、ニツ井町総合福祉センターの地下水から化学物質が検出され、県が付近600mの範囲で井戸19地点を調査したところ、3地点から基準を超える化学物質が検出されたため、県と協力し、基準を超えた3地点を含む15地点でモニタリング調査を実施したい、との答弁があった。

●ポイントカードシステムの更新

更新について質疑があり、能代ポイントカード事業協同組合及びニツ井町商業協同組合の端末機の老朽化に伴い更新するものであるが、将来的な両組合の合併を視野に入れ、さらに利便性向上を図るため、同じ機種を導入することになる、との答弁があった。

●木製プラントー設置の自治会

地域での取り組みについて質疑があり、今年度はのしろ白神ネットワークが取り組んでおり、上町のすみれ会や梅内のさつき会、常盤地域などで進められている。市では県の補助事業を活用して、小中学校で200個製作し、花

●中心市街地活性化ビジョン

いっばい運動と合わせて地域づくりの一環として推進していきたい、との答弁があった。

ビジョン策定と協議会設置のスケジュールについて質疑があり、速やかにアドバイザリーの委嘱、コンサルタントの入札手続を行うとともに、準備会を立ち上げ協議会の委員の選定を行い、7月中には協議会を開催したい。10月中にビジョンの内容を取りまとめ、11月には策定したいと考えている。協議会委員についてはイオン出店に対して賛成、反対を問わず選定していきたい、との答弁があった。

また、市民、行政が一体となって協議会を立ち上げるのが大事なことであって、そのためにもまず説明責任を果たすことが重要であり、議会の決定、市民の要望を踏まえないか、との質疑があり、議会の決定は重く受けとめており、説明会については本委員会で出された意見も参考に、出したい、との答弁があった。

また、中心市街地活性化ビジョン策定事業費の計上は迅速であり、本予算は認めがたい、との討論があった。

(穴山)